



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月3日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	23,036	2.8	1,623	26.9	1,571	20.1	1,128	29.8
28年3月期第3四半期	22,404	8.8	1,278	13.7	1,308	△39.0	869	△49.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,960百万円 (ー%) 28年3月期第3四半期 455百万円 (△57.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	41.99	41.98
28年3月期第3四半期	32.22	32.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	38,244	26,538	69.4	992.39
28年3月期	40,428	29,252	72.3	1,084.29

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 26,531百万円 28年3月期 29,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
29年3月期	—	8.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,100	1.1	1,700	13.5	1,130	△1.1	640	78.8	23.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	29,662,851株	28年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,920,719株	28年3月期	2,684,803株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	26,873,180株	28年3月期3Q	26,978,140株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州ともに個人消費を中心として総じて堅調に推移いたしました。また、国内経済は、個人消費に力強さを欠く一方で、為替の円安基調を背景に企業収益が改善するなど、緩やかな持ち直しの動きがみられました。

当社グループを取り巻く環境について、ゲーミング市場は、OEM顧客を中心に活発な需要があり、コマーシャル(金融・流通・交通等)市場は、特に欧州地域において安定した市場環境が継続いたしました。一方、日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、停滞するパチンコ市場にあって、昨年12月末を期限とする「検定機と性能が異なる可能性のある遊技機」の撤去による影響等により、厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、ゲーミング市場向けには、既存製品とゲーミング用プリンター製品とを一体とする提案営業を通じて新規顧客の開拓に取り組み、コマーシャル市場向けには、国内外を問わず高付加価値製品の販売推進に努めました。また、遊技場向機器市場については、昨年9月に取得したシルバー電研株式会社の遊技機器事業による顧客基盤の拡大に努めるなど、それぞれの市場に応じた販売戦略を展開してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、230億36百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。利益面では、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は16億23百万円(前年同四半期比26.9%増)、経常利益は15億71百万円(前年同四半期比20.1%増)、特別損益計上後の親会社株主に帰属する四半期純利益は11億28百万円(前年同四半期比29.8%増)となりました。

なお、当第3四半期の平均為替レートは、米ドル108.82円(前年同四半期は120.90円)、ユーロは121.03円(前年同四半期は134.42円)で推移し、また、当第3四半期連結期間末の時価評価に適用する四半期末日為替レートは、米ドル116.55円(前連結会計年度末は112.69円)でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域におけるOEM顧客向け紙幣識別機ユニット、及び欧州地域における紙幣還流ユニットの販売が引き続き堅調であったことなどにより、当セグメントの売上高は124億42百万円(前年同四半期比4.1%増)となり、セグメント利益は23億48百万円(前年同四半期比18.9%増)となりました。

②海外コマーシャル

欧州地域における販売は堅調でしたが、販売先の在庫調整等の影響から北米金融市場向けの紙幣識別機ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は26億94百万円(前年同四半期比12.0%減)、セグメント利益は2億24百万円(前年同四半期比61.8%減)となりました。

③国内コマーシャル

外貨両替機及びセルフガソリンスタンド向け釣銭機の販売は増加いたしました。金融市場向け紙幣還流ユニットが減少したことなどにより、当セグメントの売上高は13億57百万円(前年同四半期比0.1%減)となりました。しかしながら、比較的利益率の高い製品の出荷が増加したため、セグメント利益は37百万円(前年同四半期比16.2%増)となりました。

④遊技場向機器

メダル自動補給回収システムなどの関連設備機器の販売は減少いたしました。昨年9月に実施した遊技機器事業の取得による効果が貢献したことなどにより、当セグメントの売上高は65億42百万円(前年同四半期比8.5%増)、セグメント利益は2億46百万円(前年同四半期比668.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は382億44百万円となりました。流動資産では、「受取手形及び売掛金」及び「商品及び製品」が増加いたしました。一方、短期借入金の返済や配当金の支払いなどにより「現金及び預金」が減少いたしました。また、「有形固定資産」及び「無形固定資産」がそれぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ21億84百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は117億5百万円となりました。「短期借入金」は返済により減少いたしました。一方、その他の負債が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億28百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は265億38百万円となりました。配当金の支払いや為替レートが前連結会計年度末に比べ円高に推移したことによる「為替換算調整勘定」の変動があったことなどから、前連結会計年度末に比べ27億13百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益18億81百万円の資金の増加があった一方で、売上債権の増加13億28百万円、たな卸資産の増加14億1百万円、法人税等の支払額7億13百万円などの資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは2億84百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、事業譲受による収入3億6百万円などの資金の増加があった一方で、投資有価証券の取得による支出1億12百万円、有形固定資産の取得による支出2億96百万円などの資金の減少がありましたので、1億12百万円の資金の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出5億15百万円、配当金の支払額4億57百万円、自己株式の取得による支出3億円などの資金の減少がありましたので、13億48百万円の資金の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額5億57百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は70億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億33百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想数値につきましては、平成28年9月6日付にて発表した業績予想数値から変更はありませんが、今後の需要動向などの影響を確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,814,795	7,080,991
受取手形及び売掛金	6,556,700	6,873,939
有価証券	84,721	70,742
商品及び製品	6,089,803	6,574,035
仕掛品	711,767	769,309
原材料及び貯蔵品	2,978,839	2,755,214
その他	1,148,329	1,642,623
貸倒引当金	△263,849	△246,863
流動資産合計	26,121,107	25,519,993
固定資産		
有形固定資産	5,090,253	4,879,031
無形固定資産		
のれん	2,625,420	2,077,602
技術資産	500,990	366,175
顧客関連資産	3,839,480	3,034,075
商標権	516,856	408,982
その他	71,911	63,947
無形固定資産合計	7,554,659	5,950,783
投資その他の資産		
その他	1,716,705	1,949,130
貸倒引当金	△53,887	△54,625
投資その他の資産合計	1,662,818	1,894,505
固定資産合計	14,307,730	12,724,320
資産合計	40,428,838	38,244,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,433,683	3,455,399
短期借入金	4,620,290	4,195,800
未払法人税等	307,798	343,111
賞与引当金	256,898	171,887
役員賞与引当金	8,800	12,100
その他	1,812,801	2,824,138
流動負債合計	10,440,271	11,002,436
固定負債		
厚生年金基金解散損失引当金	67,000	—
その他	669,497	703,271
固定負債合計	736,497	703,271
負債合計	11,176,768	11,705,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,068,964
利益剰余金	26,514,737	27,186,432
自己株式	△2,329,517	△2,629,575
株主資本合計	28,471,129	28,842,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,263	150,627
為替換算調整勘定	707,962	△2,462,144
その他の包括利益累計額合計	777,226	△2,311,517
新株予約権	3,713	7,356
純資産合計	29,252,069	26,538,606
負債純資産合計	40,428,838	38,244,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	22,404,666	23,036,639
売上原価	13,411,310	14,005,905
売上総利益	8,993,355	9,030,734
割賦販売未実現利益戻入額	61,076	44,604
割賦販売未実現利益繰入額	49,804	480
差引売上総利益	9,004,627	9,074,858
販売費及び一般管理費	7,725,939	7,451,791
営業利益	1,278,687	1,623,067
営業外収益		
受取利息	11,442	5,481
受取配当金	16,636	13,609
持分法による投資利益	8,006	—
為替差益	6,561	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	67,000
その他	68,794	33,968
営業外収益合計	111,440	120,059
営業外費用		
支払利息	22,315	27,527
為替差損	—	124,602
リース解約損	45,337	—
その他	13,616	19,313
営業外費用合計	81,269	171,443
経常利益	1,308,859	1,571,683
特別利益		
固定資産売却益	828	333
投資有価証券売却益	8,403	—
負ののれん発生益	—	314,000
特別利益合計	9,232	314,333
特別損失		
固定資産売却損	226	54
固定資産除却損	5,633	4,487
投資有価証券評価損	37,657	—
その他	4,768	—
特別損失合計	48,286	4,542
税金等調整前四半期純利益	1,269,804	1,881,473
法人税、住民税及び事業税	469,194	816,951
法人税等調整額	△68,646	△63,795
法人税等合計	400,548	753,155
四半期純利益	869,256	1,128,317
親会社株主に帰属する四半期純利益	869,256	1,128,317

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	869,256	1,128,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,420	81,363
為替換算調整勘定	△450,830	△3,170,106
持分法適用会社に対する持分相当額	3,728	—
その他の包括利益合計	△413,680	△3,088,743
四半期包括利益	455,575	△1,960,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,575	△1,960,425
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,269,804	1,881,473
減価償却費	787,319	691,298
のれん償却額	160,872	157,354
負ののれん発生益	—	△314,000
引当金の増減額 (△は減少)	△228,007	△165,001
持分法による投資損益 (△は益)	△8,006	—
受取利息及び受取配当金	△28,078	△19,091
支払利息	22,315	27,527
為替差損益 (△は益)	△78,761	53,211
有形固定資産除売却損益 (△は益)	5,031	4,209
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,403	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	37,657	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△532,389	△1,328,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△545,424	△1,401,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	△489,835	766,047
未収消費税等の増減額 (△は増加)	20,867	151,900
その他	△377,935	501,238
小計	7,026	1,006,346
利息及び配当金の受取額	27,560	19,607
利息の支払額	△22,315	△27,527
法人税等の支払額	△445,777	△713,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	△433,505	284,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△36,173	232
有形固定資産の取得による支出	△208,837	△296,484
有形固定資産の売却による収入	4,199	1,212
無形固定資産の取得による支出	△17,353	△10,758
投資有価証券の取得による支出	△100,021	△112,403
投資有価証券の売却による収入	102,121	—
長期貸付金の回収による収入	82,114	—
事業譲受による収入	—	306,000
その他	△5,690	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,638	△112,001
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△515,550
配当金の支払額	△512,784	△457,986
リース債務の増加による収入	13,434	2,926
リース債務の返済による支出	△92,788	△78,138
自己株式の取得による支出	△177	△300,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592,316	△1,348,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117,914	△557,754
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,323,374	△1,733,804
現金及び現金同等物の期首残高	8,814,280	8,794,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,490,905	7,060,991

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,952,256	3,061,567	1,359,299	6,031,542	22,404,666	—	22,404,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,952,256	3,061,567	1,359,299	6,031,542	22,404,666	—	22,404,666
セグメント利益	1,974,152	587,591	32,065	32,033	2,625,842	△1,347,154	1,278,687

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,442,225	2,694,554	1,357,776	6,542,082	23,036,639	—	23,036,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,442,225	2,694,554	1,357,776	6,542,082	23,036,639	—	23,036,639
セグメント利益	2,348,002	224,274	37,251	246,145	2,855,674	△1,232,606	1,623,067

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。